

苫小牧市公共下水道

事業計画変更書

令和 3 年度

苫 小 牧 市

苫上下下第 20 号
令和 4 年 4 月 22 日

北海道知事 鈴木直道様

苫小牧市下水道事業

苫小牧市長 岩倉 博文

苫小牧市公共下水道事業計画変更について（協議）

標記について、下水道法第 4 条第 2 項の規定により、別添のとおり関係書類並びに図面を添えて協議いたします。

下水道法 協議回答

協議回答日：令和 4 年 5 月 9 日

協議回答番号：都環第 181 号

苫小牧市公共下水道事業計画変更書

目 次

1. 苫小牧市公共下水道事業計画変更書	1
2. 苫小牧市公共下水道事業計画変更説明書	33
3. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 1	177
4. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 2	181
5. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 3	185
6. 苫小牧市公共下水道事業計画変更設計計算書	191

1. 苫小牧市公共下水道事業計画変更書

公共下水道管理者 苫小牧市長 岩倉 博文
工事着工の年月日 昭和 27 年 4 月 1 日
工事完成の予定年月日 令和 8 年 3 月 31 日

(第1-1表)

変更あり

予 定 処 理 区 域 調 書			
処理区域の 面 積	5,351.7 5,317.1	ヘクタール	処理区域内の地名 北海道苫小牧市 区域は下水道計画一般図表示のとおり
処 理 区 の 名 称	面 積 (単位:ヘクタール)		摘 要
高 砂 処 理 区	1,798.7 1,797.5		分流式 一部合流式
西 町 処 理 区	2,138.8 2,079.1		分流式 一部合流式
勇 払 処 理 区	1,414.2 1,440.5		分流式
合 計	5,351.7 5,317.1		

(第1-2表)

変更あり

予 定 排 水 区 域 調 書			
排水区域の面積	5,129.7 5,055.2	ヘクタール	排水区域内の地名 北海道苫小牧市 区域は下水道計画一般図表示のとおり
排水区 の 名 称	面 積 (単位:ヘクタール)	摘 要	
三 光 町 排 水 区	23.6	分 流 式	
日 の 出 町 排 水 区	22.9	" (10年確率降雨対象排水区)	
双 葉 町 排 水 区	58.7	" (10年確率降雨対象排水区)	
船 見 町 排 水 区	28.0	" (10年確率降雨対象排水区)	
美 園 町 第 1 排 水 区	11.9	" (10年確率降雨対象排水区)	
美 園 町 第 2 排 水 区	30.7	" (10年確率降雨対象排水区)	
清 水 町 排 水 区	35.5	" (10年確率降雨対象排水区)	
幌 内 川 第 1 排 水 区	12.2	"	
幌 内 川 第 2 排 水 区	55.2	" (10年確率降雨対象排水区)	
幌 内 川 第 3 排 水 区	55.3	"	
幌 内 川 第 4-1 排 水 区	46.8	" (10年確率降雨対象排水区)	
幌 内 川 第 4-2 排 水 区	4.6	"	
幌 内 川 第 5-1 排 水 区	49.5	" (10年確率降雨対象排水区)	
幌 内 川 第 5-2 排 水 区	1.5	"	
幌 内 川 第 6 排 水 区	40.5	"	
幌 内 川 第 7 排 水 区	98.8	" (10年確率降雨対象排水区)	
幌 内 川 第 8 排 水 区	16.2	"	
幌 内 川 第 9 排 水 区	4.3	"	
幌 内 川 第 10 排 水 区	18.5	"	
幌 内 川 第 11 排 水 区	56.1	"	

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
幌内川第12排水区	9.5	分流式
幌内川第13排水区	7.7	〃
木場町排水区	76.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第1排水区	9.5	〃
有珠川第2排水区	10.1	〃
有珠川第3排水区	6.8	〃
有珠川第4排水区	10.0	〃
有珠川第5排水区	7.5	〃
有珠川第6排水区	3.7	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第7排水区	7.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第8排水区	4.9	〃
有珠川第9排水区	7.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第10排水区	6.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第12排水区	8.6	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第13排水区	11.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第14排水区	7.9	〃
有珠川第15排水区	10.9	〃
有珠川第16排水区	19.5	〃
有珠川第17排水区	42.4	〃
有珠川第18排水区	4.0	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第19排水区	3.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
有珠川第20排水区	2.4	〃

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
有珠川第21排水区	3.0	分流式
有珠川第22排水区	4.7	〃
有珠川第23排水区	15.8	〃
有珠川第24排水区	7.2	〃
有珠川第25排水区	3.8	〃
有珠川第26排水区	4.0	〃
有珠川第27排水区	31.7	〃
有珠川第28排水区	15.5	〃
有珠川第29排水区	1.6	〃
有珠川第30排水区	2.8	〃
有珠川第31排水区	2.3	〃
有珠川第32排水区	11.6	〃
有珠川第33排水区	5.4	〃
有珠川第34排水区	4.1	〃
有珠川第35排水区	0.8	〃
有珠川第36排水区	27.0	〃
小糸魚川第1排水区	24.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第2排水区	22.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第3排水区	44.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第5-1排水区	17.6	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第5-2排水区	7.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
小糸魚川第6-1排水区	9.9	分流式 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第6-2排水区	7.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第6-3排水区	9.0	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第7排水区	12.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第8排水区	21.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第9排水区	15.0	〃
小糸魚川第10排水区 —	4.6 —	〃 —
小糸魚川第11排水区 —	3.2 —	〃 —
小糸魚川第12排水区	4.1 0.5	〃
小糸魚川第13-1排水区	2.8 1.7	〃
小糸魚川第13-2排水区	1.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第13-3排水区	1.0	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小糸魚川第14排水区	4.8 4.1	〃
小糸魚川第15排水区	5.0 4.5	〃
糸井第1-1排水区	29.3	〃
糸井第1-2排水区	10.1	〃
糸井第1-3排水区	10.6	〃
糸井第2排水区	15.6	〃
糸井第2-1排水区	37.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
糸井第3-1排水区	13.4	〃
糸井第3-2排水区	33.4	〃
糸井第4-1排水区	6.5	〃

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
糸井第4-2排水区	30.3	分流式
糸井第5-1排水区	31.5	// (10年確率降雨対象排水区)
糸井第5-2排水区	18.9	//
糸井第5-3排水区	5.5	//
糸井第5-4排水区	8.9	//
糸井第5-5排水区	11.1	//
糸井第6-1排水区	6.6	//
糸井第6-2排水区	14.7	//
糸井第6-3排水区	2.5	// (10年確率降雨対象排水区)
糸井第6-4排水区	8.5	//
糸井第6-5排水区	4.4	//
糸井第6-6排水区	4.4	//
糸井第6-7排水区	3.5	//
糸井第6-8排水区	15.3	//
糸井第6-9排水区	2.1	//
糸井第6-10排水区	2.1	//
糸井第6-11排水区	6.0	// (10年確率降雨対象排水区)
糸井第6-12排水区	3.3	// (10年確率降雨対象排水区)
糸井第6-13排水区	3.2	// (10年確率降雨対象排水区)
糸井第6-14排水区	0.5	// (10年確率降雨対象排水区)
糸井第6-15排水区	52.2	// (10年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第1排水区	17.0	// (10年確率降雨対象排水区)

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
小泉の沢川第2-1排水区	6.0	分流式 (10年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第2-2排水区	16.6	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第3排水区	29.6	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第5排水区	6.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第6排水区	4.1	〃
小泉の沢川第7排水区	2.1	〃
小泉の沢川第8排水区	1.0	〃
小泉の沢川第9排水区	2.4	〃
小泉の沢川第10排水区	2.9	〃
小泉の沢川第11排水区	4.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
小泉の沢川第12排水区	1.7	〃
錦岡第1排水区	98.2 78.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第1排水区	70.6	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第2排水区	61.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第3排水区	62.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第4排水区	17.8	〃
錦多峰川第5排水区	16.4	〃
錦多峰川第6排水区	5.7	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第7排水区	65.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第8排水区	11.0	〃

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
錦多峰川第10排水区	23.6	分流式
錦多峰川第11排水区	54.3	〃
錦多峰川第12排水区	8.6	〃 自然流出区域2.0ha含む (10年確率降雨対象排水区)
錦多峰川第13排水区	2.0	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第1排水区	4.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第2排水区	7.8	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第3排水区	7.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第4排水区	8.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第5排水区	9.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第6排水区	9.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第7排水区	5.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第8排水区	8.7	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第9排水区	6.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第10排水区	5.0	〃 (10年確率降雨対象排水区)
錦岡川第11排水区	5.2	〃
錦岡川第12排水区	1.6 0.2	〃
錦岡川第13排水区	26.0 20.8	〃
錦岡川第14排水区	11.2	〃
錦岡川第15排水区 —	10.6 —	〃 —
錦岡川第16排水区	13.6	〃 (10年確率降雨対象排水区)
覚生川第1排水区 —	1.2 —	〃 —
覚生川第2排水区 —	0.8 —	〃 —

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
覚生川第3排水区	4.6 3.1	分流式
覚生川第4排水区	1.9	〃
覚生川第5排水区	7.3 7.0	〃
覚生川第6排水区	3.4	〃
覚生川第7排水区	4.4	〃
覚生川第8排水区	5.6	〃
覚生川第9排水区	1.7	〃
覚生川第10排水区	3.5	〃
覚生川第11排水区	4.0	〃
覚生川第12排水区	7.0	〃
覚生川第13排水区	11.6	〃
覚生川第14排水区	12.7 9.2	〃
覚生川第15排水区 —	16.7 —	〃 —
勇払第1排水区	3.9	〃
勇払第2排水区	11.1	〃
勇払第3排水区	5.4	〃
勇払第4排水区	69.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
勇払第6排水区	16.2	〃
勇払第7排水区	8.3	〃
勇払第8排水区	11.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
勇払第9排水区	2.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第1排水区	94.0 94.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
沼ノ端第2排水区	31.3	分流式 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第3排水区	18.2	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第4排水区	16.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第5排水区	6.7	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第6排水区	84.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第7排水区	55.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第8排水区	60.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第9排水区	79.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)
沼ノ端第10排水区	41.9	〃
沼ノ端第11排水区	18.4	〃
沼ノ端第12排水区	71.4	〃
沼ノ端第13排水区	30.7	〃
沼ノ端第14排水区	56.1	〃
沼ノ端第15排水区	23.1	〃
沼ノ端第16排水区	57.4	〃
沼ノ端第17排水区	18.3	〃
沼ノ端第18排水区	9.3	〃
沼ノ端第19排水区	143.6	〃
沼ノ端第20排水区	7.3	〃
明野第1排水区	6.5	〃
明野第2排水区	7.7	〃
明野第3排水区	114.6	〃

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
明野第4排水区	61.4	分流式 (10年確率降雨対象排水区)
明野第5排水区	105.3	〃 (10年確率降雨対象排水区)
明野第6排水区	79.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
一本松第1排水区	22.3	〃
一本松第2排水区	88.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
一本松第3排水区	4.4	〃 (10年確率降雨対象排水区)
一本松第4排水区	12.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
汐見町第1排水区	20.0	〃
汐見町第2排水区	15.8 15.9	〃
汐見町第3排水区	11.4 11.5	〃
汐見町第4排水区	8.6	〃
汐見町第5排水区	8.4	〃
汐見町第6排水区	10.1	〃
汐見町第7排水区	12.7 11.3	〃
汐見町第8排水区	3.5	〃
汐見町第9排水区	12.7	〃 (10年確率降雨対象排水区)
汐見町第10排水区	1.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
汐見町第11排水区	15.6	〃 (10年確率降雨対象排水区)
勇払川第1排水区	39.9	〃
勇払川第2排水区	56.3	〃
勇払川第3排水区	16.0	〃
勇払自然流出区域	6.7	〃

排水区の名称	面積 (単位:ヘクタール)	摘要
明野川自然流出区域	25.2	分流式
沼ノ端自然流出区域	17.4	〃
苫小牧川第1排水区	95.9	〃 (10年確率降雨対象排水区)
苫小牧川第2排水区	67.3 68.1	〃 (10年確率降雨対象排水区)
苫小牧川第3排水区	65.5	〃 (10年確率降雨対象排水区)
苫小牧川第3排水区	69.3	合流式
苫小牧川第4排水区	33.0	〃
中央第1排水区	249.9	〃
中央第2排水区	190.1	〃
合計	5,129.7 5,055.2	

(第2表)

変更あり

吐 口 調 書							
処理区の名 称	主 要 な 吐口の種類	主要な吐口の 番号又は名称	主 要 な 吐 口 の 位 置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先の名 称	放流先の水位	摘 要
高砂処理区	合 流 式 雨 水 吐	太平洋吐口 No.1	苫小牧市高砂町2丁目	10.753	太 平 洋		スクリーン設置
	処 理 施 設	高砂第2放流渠	苫小牧市高砂町2丁目	0.412	木場町幹線	LWL-2.76	
	合 流 式 雨 水 吐	太平洋吐口 No.16	苫小牧市汐見町3丁目	2.984	太 平 洋		スクリーン設置
	合 流 式 雨 水 吐	太平洋吐口 No.17	苫小牧市汐見町3丁目	5.569	太 平 洋		スクリーン設置
	合 流 式 雨 水 吐	太平洋吐口 No.18	苫小牧市汐見町3丁目	13.026	太 平 洋		スクリーン設置
	分 流 式 雨 水 管 渠	三光町吐口 No.1	苫小牧市日の出町1丁目	1.106	幌 内 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	日の出町吐口 No.1	苫小牧市日の出町1丁目	2.217	幌 内 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	双葉町吐口 No.1	苫小牧市日の出町1丁目	5.501	幌 内 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	船見町吐口 No.1	苫小牧市入船町2丁目	2.274	幌 内 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	美園町吐口 No.2	苫小牧市美園町1丁目	1.391	幌 内 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	苫小牧川吐口 No.6	苫小牧市清水町4丁目	3.386	苫 小 牧 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	幌内川吐口 No.2	苫小牧市新明町4丁目	4.765	幌 内 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	幌内川吐口 No.3	苫小牧市明野新町6丁目	2.489	幌 内 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	幌内川吐口 No.4-1	苫小牧市明野新町3丁目	3.885	幌 内 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	幌内川吐口 No.5-1	苫小牧市明野新町2丁目	4.116	幌 内 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	幌内川吐口 No.6	苫小牧市柳町4丁目	2.066	幌 内 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	幌内川吐口 No.7	苫小牧市美園町1丁目	7.656	幌 内 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	幌内川吐口 No.11	苫小牧市三光町1丁目	3.190	幌 内 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	明野川吐口 No.3	苫小牧市あけぼの町2丁目	4.286	明 野 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	明野川吐口 No.4	苫小牧市明野元町2丁目	4.715	明 野 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	明野川吐口 No.5	苫小牧市明野元町2丁目	7.118	明 野 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	明野川吐口 No.6	苫小牧市明野元町1丁目	4.869	明 野 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	汐見町吐口 No.1	苫小牧市元中野4丁目	0.851	太 平 洋		
	分 流 式 雨 水 管 渠	勇払川吐口 No.1	苫小牧市字高丘	2.076	勇 払 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	勇払川吐口 No.2	苫小牧市あけぼの町4丁目	2.903	勇 払 川	HWL+7.18	点検方法:目視点検 点検頻度:年1回

処理区の名 称	主 要 な 吐口の種類	主要な吐口の 番号又は名称	主 要 な 吐 口 の 位 置	計 画 放 流 量 (m ³ /sec)	放 流 先 の 名 称	放 流 先 の 水 位	摘 要
西町処理区	処 理 施 設	苫小牧川吐口 No.1	苫小牧市元町3丁目	1.007	苫 小 牧 川	LWL+2.00	
	合 流 式 雨 水 吐	苫小牧川吐口 No.2	苫小牧市新富町2丁目	8.320	苫 小 牧 川		スクリーン設置
	分 流 式 雨 水 管 渠	苫小牧川吐口 No.3	苫小牧市青葉町2丁目	6.219 6.293	苫 小 牧 川		10年確率降雨
	合 流 式 雨 水 吐	苫小牧川吐口 No.4	苫小牧市啓北町1丁目	9.846	苫 小 牧 川	HWL+5.42	スクリーン設置 点検方法:目視点検 点検頻度:年1回
	合 流 式 雨 水 吐	苫小牧川吐口 No.5	苫小牧市啓北町2丁目	3.338	苫 小 牧 川	HWL+6.38	スクリーン設置 点検方法:目視点検 点検頻度:年1回
	分 流 式 雨 水 管 渠	木場町吐口 No.1	苫小牧市浜町1丁目	12.965	太 平 洋		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	有珠川吐口 No.17	苫小牧市桜木町4丁目	2.354	苫 小 牧 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	有珠川吐口 No.27	苫小牧市有珠の沢町5丁目	1.967	有 珠 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	有珠川吐口 No.36	苫小牧市日新町5丁目	1.375	豊 木 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	小糸魚川吐口 No.1	苫小牧市柏木町3丁目	2.995	小 糸 魚 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	小糸魚川吐口 No.2	苫小牧市川沿町4丁目	2.801	小 糸 魚 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	小糸魚川吐口 No.3	苫小牧市字糸井	3.926	小 糸 魚 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	小糸魚川吐口 No.8	苫小牧市ときわ町1丁目	2.102	小 糸 魚 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	糸井吐口 No.1-1	苫小牧市字糸井	1.904	小 糸 魚 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	糸井吐口 No.2-1	苫小牧市字糸井	3.396	小 泉 の 沢 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	糸井吐口 No.3-2	苫小牧市有明町2丁目	1.445	太 平 洋		
	分 流 式 雨 水 管 渠	糸井吐口 No.4-2	苫小牧市光洋町2丁目	1.569	苫 小 牧 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	糸井吐口 No.5-1	苫小牧市光洋町1丁目	2.519	苫 小 牧 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	糸井吐口 No.6-15	苫小牧市しらべ町3丁目	4.449	小 泉 の 沢 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	小泉の沢川吐口 No.3	苫小牧市川沿町1丁目	4.102	小 泉 の 沢 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	錦岡吐口 No.1	苫小牧市字錦岡	8.832	太 平 洋		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	錦多峰川吐口 No.1	苫小牧市のぞみ町2丁目	6.680	錦 多 峰 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	錦多峰川吐口 No.2	苫小牧市美原町2丁目	6.035	錦 多 峰 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	錦多峰川吐口 No.3	苫小牧市美原町2丁目	4.735	錦 多 峰 川		10年確率降雨
分 流 式 雨 水 管 渠	錦多峰川吐口 No.7	苫小牧市青雲町1丁目	6.441	錦 多 峰 川	HWL+5.32	10年確率降雨 点検方法:目視点検 点検頻度:年1回	

処理区の名 称	主 要 な 吐口の種類	主要な吐口の 番号又は名称	主 要 な 吐 口 の 位 置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先の名称	放流先の水位	摘 要
西町処理区	分 流 式 雨 水 管 渠	錦多峰川吐口 No.10	苫小牧市字錦岡	0.961	錦 多 峰 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	錦多峰川吐口 No.11	苫小牧市字錦岡	0.951	錦 多 峰 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	錦岡川吐口 No.13	苫小牧市字錦岡	1.609	錦 岡 川		
勇払処理区	処 理 施 設	太平洋吐口 No.10	苫小牧市字勇払	0.225	太 平 洋	LWL-2.76	
	分 流 式 雨 水 管 渠	勇払吐口 No.4	苫小牧市字勇払	5.883	安 平 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.1	苫小牧市字沼ノ端	6.990 7.023	明 野 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.2	苫小牧市字沼ノ端	3.035	明 野 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.6	苫小牧市拓勇西町2丁目	8.192	明 野 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.7	苫小牧市拓勇西町3丁目	5.434	明 野 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.8	苫小牧市拓勇西町6丁目	6.205	明 野 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.9	苫小牧市字植苗	5.915	勇 払 川		10年確率降雨
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.10	苫小牧市字沼ノ端	2.596	勇 払 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.12	苫小牧市字沼ノ端	3.240	勇 払 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.13	苫小牧市字沼ノ端	1.892	勇 払 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.14	苫小牧市字沼ノ端	2.850	勇 払 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.15	苫小牧市字沼ノ端	1.463	勇 払 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.16	苫小牧市字沼ノ端	2.978	勇 払 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	沼ノ端吐口 No.19	苫小牧市字沼ノ端	4.976	勇 払 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	一本松吐口 No.1	苫小牧市一本松町	1.719	幌 内 川		
	分 流 式 雨 水 管 渠	一本松吐口 No.2	苫小牧市字勇払	6.326	明 野 川		10年確率降雨

(第3-1表)

管 渠 調 書 (汚水管及び合流管)				
処 理 区 の 名 称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
高 砂 処 理 区	⊙ 200 ~ 2,500	32,740	4	内、合流管8,330m 方法:マンホール内からの管内目視若しくは管口カメラを用いる方法 頻度:5年に1回程度
	□ 1,800 × 1,350 ~ 3,500 × 2,000	120	0	内、合流管120m
	小 計	32,860	4	内、合流管8,450m
西 町 処 理 区	⊙ 150 ~ 1350	38,390	7	内、合流管630m 方法:マンホール内からの管内目視若しくは管口カメラを用いる方法 頻度:5年に1回程度
	□ 1,800 × 1,260 ~ 2,400 × 1,440	1,110	0	内、合流管1,110m
	小 計	39,500	7	内、合流管1,740m
勇 払 処 理 区	⊙ 100 ~ 900	38,470 38,970	18	分流通管 方法:マンホール内からの管内目視若しくは管口カメラを用いる方法 頻度:5年に1回程度
	小 計	38,470 38,970	18	
合 計		110,830 111,330	29	内、合流管10,190m

※ 表中管渠寸法は既設管寸法を記載している。更新時には新計画に基づく必要寸法を精査して事業実施する。

※ 未整備のポンプ場およびポンプ所の吐出先は点検箇所から除いている。

※ 糸井中継ポンプ場はポンプの構造上硫化水素が発生しにくいいため、点検箇所に含まない。

(第3-2表)

変更なし

管 渠 調 書 (雨 水 管)			
排 水 区 の 名 称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	摘 要
三 光 町 排 水 区	⊙ 1,350	410	
	小 計	410	
日 の 出 町 排 水 区	⊙ 1,650	260	
	小 計	260	
双 葉 町 排 水 区	⊙ 1,500 ~ 2,200	1,430	
	小 計	1,430	
船 見 町 排 水 区	⊙ 1,500 ~ 1,650	360	
	小 計	360	
美 園 町 第 2 排 水 区	⊙ 1,350	870	
	小 計	870	
清 水 町 排 水 区	□ 2,200 × ~ 2800 × 600×2 1500	1,560	
	小 計	1,560	
幌 内 川 第 2 排 水 区	⊙ 2,000 ~ 2,200	930	
	小 計	930	
幌 内 川 第 3 排 水 区	⊙ 1,350 ~ 1,650	1,010	
	小 計	1,010	
幌 内 川 第 4-1 排 水 区	⊙ 1,650 ~ 2,000	760	
	小 計	760	
幌 内 川 第 5-1 排 水 区	⊙ 1,650 ~ 2,200	800	
	小 計	800	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	摘 要
幌内川第6排水区	⊙ 1,350 ~ 1,500	700	
	小 計	700	
幌内川第7排水区	⊙ 1,650 ~ 2,600	2,040	
	□ 1,800 × 1,800	480	
	小 計	2,520	
幌内川第11排水区	⊙ 1,500 ~ 2,000	1,380	
	小 計	1,380	
木場町排水区	⊙ 2,000 ~ 2,600	2,220	
	□ 2,800 × 2,800 2,000 × 2,520	190	
	小 計	2,410	
有珠川第17排水区	⊙ 1,650 ~ 1,800	450	
	小 計	450	
有珠川第27排水区	⊙ 1,000 ~ 1,100	240	
	小 計	240	
有珠川第36排水区	⊙ 1,350 ~ 1,500	390	
	小 計	390	
小糸魚川第1排水区	⊙ 1,800	150	
	小 計	150	
小糸魚川第2排水区	⊙ 1,800	110	
	小 計	110	
小糸魚川第3排水区	⊙ 1,200 ~ 1,800	620	
	小 計	620	
小糸魚川第8排水区	⊙ 1,650	20	
	小 計	20	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	摘 要
糸井第1-1排水区	⊙ 1,350 ~ 1,500	280	
	小 計	280	
糸井第2-1排水区	⊙ 1,650 ~ 2,000	540	
	小 計	540	
糸井第3-2排水区	⊙ 1,200 ~ 1,350	710	
	小 計	710	
糸井第4-2排水区	⊙ 1,350 ~ 1,500	470	
	小 計	470	
糸井第5-1排水区	⊙ 1,650 ~ 1,800	550	
	小 計	550	
糸井第6-15排水区	□ 1,600 × ~ 1,900 × 1,600 1,900	710	
	小 計	710	
小泉の沢川第3排水区	⊙ 1,800 ~ 2,000	110	
	小 計	110	
錦岡第1排水区	□ 1,800 × ~ 4,200 × 1,500 1,700	1,500	
	小 計	1,500	
錦多峰川第1排水区	⊙ 2,000 ~ 2,600	1,140	
	小 計	1,140	
錦多峰川第2排水区	⊙ 1,800 ~ 2,400	1,040	
	小 計	1,040	
錦多峰川第3排水区	⊙ 1,650 ~ 2,200	1,160	
	小 計	1,160	
錦多峰川第7排水区	⊙ 1,800 ~ 2,400	630	
	小 計	630	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	摘 要
錦多峰川第10排水区	⊙ 1,650	70	
	小 計	70	
錦多峰川第11排水区	⊙ 1,500 ~ 2,000	610	
	小 計	610	
錦岡川第13排水区	⊙ 1,650 ~ 1,800	600	
	小 計	600	
勇払第4排水区	⊙ 1,650	170	
	□ 2,500 × ~ 3,700 × 1,500 1,800	1,940	
	小 計	2,110	
沼ノ端第1排水区	□ 1,900 × ~ 2,000 × 1,050 1,050	190	
	⊙ 1,800 ~ 2,600	1,020	
	小 計	1,210	
沼ノ端第2排水区	⊙ 1,650	110	
	小 計	110	
沼ノ端第6排水区	⊙ 2,600	60	
	□ 1,800 × ~ 2,300 × 1,600 2,200	1,090	
	小 計	1,150	
沼ノ端第7排水区	⊙ 2,400	30	
	□ 1,800 × ~ 2,100 × 1,500 2,000	870	
	小 計	900	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	摘 要
沼ノ端第8排水区	⊙ 2,400	30	
	□ 1,900 × 2,300 × ~ × 1,000 2,200	1,020	
	小 計	1,050	
沼ノ端第9排水区	⊙ 1,800 ~ 2,000	560	
	□ 2,100 × 2,100	500	
	小 計	1,060	
沼ノ端第10排水区	□ 1,500 × 1,350	80	
	小 計	80	
沼ノ端第12排水区	□ 1,700 × 2,500 × ~ × 1,000 1,200	1,220	
	小 計	1,220	
沼ノ端第13排水区	⊙ 1,350 ~ 1,500	60	
	小 計	60	
沼ノ端第14排水区	⊙ 1,500 ~ 2,000	540	
	□ 1,600 × 1,650 × ~ × 1,400 1,650	220	
	小 計	760	
沼ノ端第15排水区	⊙ 1,350	280	
	□ 1,200 × 1,200	10	
	小 計	290	
沼ノ端第16排水区	□ 1,500 × 1,800 × ~ × 1,350 1,700	650	
	小 計	650	
沼ノ端第19排水区	⊙ 1,200 ~ 2,400	2,590	
	□ 2,300 × 1,700	820	
	小 計	3,410	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延長 (単位:メートル)	摘要
明野第3排水区	⊙ 1,650 ~ 2,400	1,730	
	小 計	1,730	
明野第4排水区	⊙ 1,650 ~ 2,200	1,510	
	小 計	1,510	
明野第5排水区	⊙ 1,650 ~ 2,600	1,780	
	小 計	1,780	
明野第6排水区	⊙ 2,200	30	
	⊠ 2,100 × 1,200 ~ 2,500 × 1,520	1,980	
	小 計	2,010	
一本松第1排水区	⊙ 1,350	320	
	⊠ 1,200 × 1,200	10	
	小 計	330	
一本松第2排水区	⊙ 2,400	110	
	⊠ 2,200 × 1,080 ~ 3,400 × 1,260	2,160	
	小 計	2,270	
汐見町第1排水区	⊙ 1,200 ~ 1,500	260	
	小 計	260	
勇払川第1排水区	⊠ 1,600 × 1,100	30	
	小 計	30	
勇払川第2排水区	⊙ 1,350	130	
	⊠ 1,400 × 1,400 ~ 1,700 × 1,400	170	
	小 計	300	

排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延長 (単位:メートル)	摘要
苫小牧川第1排水区	⊙ 2,000	130	
	□ 2,200 × ~ × 1,600 2,000	550	
	小計	680	
苫小牧川第2排水区	□ 2,400 × ~ × 1,600 1,800	510	
	小計	510	
苫小牧川第3排水区	⊙ 1,200 ~ 1,500	1,030	
	□ 2,000 × ~ × 1,300 2,000	1,750	
	小計	2,780	
苫小牧川第4排水区	⊙ 1,350	20	
	小計	20	
中央第1排水区	⊙ 900 ~ 2,000	1,340	
	□ 2,100 × ~ × 1,200 2,000	130	
	小計	1,470	
中央第2排水区	□ 4,000 × 1,500	50	
	小計	50	
合計		57,290	

※ 降雨確率年は、10年確率と5年確率が併用されている。

(第4表)

変更なし

処 理 施 設 調 書								
処理施設の名 称	位 置	敷地面積 (単位: ヘクタール)	計画 放流 水質	処理方法	処 理 能 力			摘 要
					晴天時 日最大 (m ³ /日)	雨天時 日最大 (m ³ /日)	計 画 処理人口 (人)	
高砂下水 処理センター	苫小牧市 高砂町 1丁目	2.08	生 物 化学的 酸 素 要求量 15.0 mg/l 以下	標 準 活 性 汚泥法	33,600	108,000	53,130	計画下水道(日最大) 全体計画 25,632 m ³ /日 事業計画 25,632 m ³ /日 分流式、一部合流式 全体計画処理人口 53,130 人 流入水質 BOD 200 mg/l S S 200 mg/l 放流予定水質 BOD 15 mg/l以下 S S 40 mg/l以下
西町下水 処理センター	苫小牧市 元町 3丁目	3.30	生 物 化学的 酸 素 要求量 15.0 mg/l 以下	標 準 活 性 汚泥法	28,240	137,000	72,900	計画下水道(日最大) 全体計画 26,629 m ³ /日 事業計画 26,629 m ³ /日 分流式、一部合流式 全体計画処理人口 72,900 人 流入水質 BOD 250 mg/l S S 250 mg/l 放流予定水質 BOD 15 mg/l以下 S S 40 mg/l以下
勇払下水 処理センター	苫小牧市 字勇払	5.25	生 物 化学的 酸 素 要求量 15.0 mg/l 以下	オキシデーショ ンデイツチ 法 及び 標 準 活 性 汚泥法	12,170	—	29,010	計画下水道(日最大) 全体計画 12,162 m ³ /日 事業計画 11,042 m ³ /日 分流式 全体計画処理人口 29,310 人 流入水質 BOD 200 mg/l S S 200 mg/l 放流予定水質 BOD 15 mg/l以下 S S 40 mg/l以下

処理施設の敷地内の主要な施設

処理施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
高砂下水処理センター	沈砂池	2池 (1池予備)	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 353m ³ /m ² /日 滞留時間 60秒	2/2(既2)
	主ポンプ設備	3台 (1台予備)	渦巻きポンプ	揚水量 28.00m ³ /分 揚程 8.5m	3/3(既3)
	最初沈殿池	2池 残り4池は合流改善対策上必要	鉄筋コンクリート造	(中央第一系統) 水面積負荷 24m ³ /m ² /日 沈殿時間 1.7時間	2/2(既6)
		3池 残り1池は合流改善対策上必要	鉄筋コンクリート造	(汐見ポンプ場系統) 水面積負荷 30m ³ /m ² /日 沈殿時間 2.0時間	3/3(既4)
	エアレーションタンク	3池	鉄筋コンクリート造	エアレーション時間 8.7時間 BOD-SS負荷 0.23kgBOD/kgSS・日	3/3(既3)
	最終沈殿池	3池 残り1池は合流改善対策上必要	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 24m ³ /m ² /日 沈殿時間 3.0時間	3/3(既4) 他に躯体1池整備済み
	雨水滞水池	1池	鉄筋コンクリート造 最終沈殿池 躯体のみ施設を活用		1/1(既1)
	消毒タンク	3池	鉄筋コンクリート造	接触時間 25.3分	3/3(既3)
	汚泥貯留タンク	2池	鉄筋コンクリート造	滞留時間(生汚泥系統1池) 15.2時間	2/2(既2)
				滞留時間(余剰汚泥系統1池) 6.1時間	
	汚泥圧送ポンプ設備	1式	汚泥ポンプ		4/4(既4)
	汚泥圧送管	2系列	ダクタイル鋳鉄管	生汚泥系統 1系列 余剰汚泥系統 1系列	2/2(既2)
管理本館棟	1棟	鉄筋コンクリート造		1/1(既1)	

処理施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
西町下水処理センター	沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造	(西部幹線系統) 水面積負荷 253m ³ /m ² /日 滞留時間 72秒	2/2(既2) 部分分流化 完了まで活用
		3池	鉄筋コンクリート造	(糸井幹線系統) 水面積負荷 657m ³ /m ² /日 滞留時間 55秒	3/3(既3)
	主ポンプ設備	5台	渦巻きポンプ	(西部幹線系統) 揚水量 82.00m ³ /分 揚程 10.5m	5/5(既5) 部分分流化 完了まで活用
		2台 (1台予備)	水中ポンプ	(遮集幹線系統) 揚水量 8.40m ³ /分 揚程 14.0m	2/2(既2)
		2台 (1台予備)	水中ポンプ	(遮集幹線系統) 揚水量 20.40m ³ /分 揚程 14.0m	2/2(既2)
		4台 (1台予備)	渦巻きポンプ	(糸井幹線系統) 揚水量 66.00m ³ /分 揚程 18.0, 14.0m	4/4(既4)
	最初沈殿池	4池 既設6池に対し 余剰の2池は合流改善 対策上必要	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 41m ³ /m ² /日 沈殿時間 1.9時間	4/4(既6)
	エアレーションタンク	4池	鉄筋コンクリート造	エアレーション時間 6.5時間 BOD-SS負荷 0.38kgBOD/kgSS・日	4/4(既4)
	最終沈殿池	5池 既設8池に対し 余剰の3池は合流改善 対策上必要	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 26m ³ /m ² /日 沈殿時間 2.6時間	5/5(既8)
	消毒タンク	1池	鉄筋コンクリート造	接触時間 21.3分	1/1(既1)
	重力濃縮タンク	2池 (1池予備)	鉄筋コンクリート造	固形物負荷 54.7kg/m ² /日 濃縮時間 14.8時間	2/2(既2)
	汚泥消化タンク	4槽 (2槽予備)	鉄筋コンクリート造 嫌気性加温式消化	消化日数 33日	4/4(既6)
	ガスタンク	1槽	鋼板製	滞留時間 15.2時間	1/1(既3)
	汚泥脱水機	1台	遠心脱水機	脱水能力 20m ³ /時・台	1/1(既1)
		1台	遠心脱水機	脱水能力 40m ³ /時・台	1/1(既1)
	汚泥処理棟	2棟	鉄筋コンクリート造		2/2(既2)
管理本館棟	1棟	鉄筋コンクリート造		1/1(既1)	

処理施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
勇払下水処理センター	沈砂池	2池 (1池予備)	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 723m ³ /m ² /日 滞留時間 14秒	2/2(既2)
	主ポンプ設備	2台 (1台予備)	汚水水中ポンプ	揚水量 1.70m ³ /分 揚程 10.0m	2/2(既2)
	最初沈殿池	2池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 43m ³ /m ² /日 滞留時間 1.7時間	2/2(既2)
	エアレーションタンク	2池	鉄筋コンクリート造	エアレーション時間 7.3時間 BOD-SS負荷 0.27kgBOD/kgSS・日	2/2(既2)
	最終沈殿池	2池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 17m ³ /m ² /日 沈殿時間 2.9時間	2/2(既2)
	オキシデーションディッチ	1池	鉄筋コンクリート造	エアレーション時間 24.0時間 BOD-SS負荷 0.05kgBOD/kgSS・日	1/1(既3)
	沈殿池	1池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 7m ³ /m ² /日 沈殿時間 4.4時間	1/1(既3)
	汚水調整池	2池	鉄筋コンクリート造 既存のOD槽と沈殿池の一部を、汚水調整池として活用		2/2(既2)
	消毒タンク	4池 (3池予備)	鉄筋コンクリート造	接触時間 23.3分	4/4(既7)
	重力濃縮タンク	2池 (1池予備)	鉄筋コンクリート造	固形物負荷 53.3kg/m ² /日 濃縮時間 20.8時間	2/2(既2)
	汚泥貯留槽	1池	鉄筋コンクリート造 既存の沈殿池の一部を汚泥貯留槽として活用する。		
	汚泥脱水機	2台 (1台予備)	遠心脱水機	脱水能力 10m ³ /時・台	2/2(既→)
	コンポスト化施設	2棟	鉄筋コンクリート・鉄骨造	処理量 6.50m ³ /日	2/2(既3)
	汚泥処理棟	1棟	鉄筋コンクリート造		1/1(既→)
管理本館棟	2棟	鉄筋コンクリート造		2/2(既2)	

※重力濃縮タンク1池は、更新時まで活用する。

(第5表)

変更なし

ポンプ施設調書						
ポンプ施設の名称	処理区の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位:アール)	1分間の揚水量(m ³ /分)		摘 要
				晴天時最大	雨天時最大	
汐見町中継ポンプ場	高砂処理区	苫小牧市汐見町 2丁目10番3号	39.7	22.22	53.26	分流汚水、一部合流 部分分流化達成後は 雨天時最大31.04
幌内川中継ポンプ場	高砂処理区	苫小牧市柳町 4丁目17番11号	13.0	9.07	—	分流汚水
明野中継ポンプ場	高砂処理区	苫小牧市新開町 2丁目4番7号	2.8	2.15	—	分流汚水
糸井中継ポンプ場	西町処理区	苫小牧市川沿町 1丁目3番20号	16.5	11.45	—	分流汚水
錦岡中継ポンプ場	西町処理区	苫小牧市青雲町 3丁目4番10号	15.0	3.46	—	分流汚水
沼ノ端中継ポンプ場	勇払処理区	苫小牧市字沼ノ端 134番地	18.0	11.11	—	分流汚水
ウトナイ中継ポンプ場	勇払処理区	苫小牧市ウトナイ南 5丁目2番	12.9	4.75	—	分流汚水

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘要
汐見町中継ポンプ場	汚水ポンプ	5台	渦巻ポンプ 口径 φ250mm × 2台 口径 φ300mm × 1台 口径 φ500mm × 2台	(分流系統+合流系統) 揚水量 = 7.0 m ³ /分, H= 10.4m 揚水量 = 11.0 m ³ /分, H= 10.4m 揚水量 = 28.0 m ³ /分, H= 10.4m	既2台 既1台 内予備1 既2台
	汚水ポンプ	3台	水中ポンプ 口径 φ350mm × 3台	(分流系統) 揚水量 = 15.0 m ³ /分, H= 6.5m	内予備1 既3台
幌内川中継ポンプ場	汚水ポンプ	4台	渦巻ポンプ 口径 φ150mm × 2台 口径 φ250mm × 2台	揚水量 = 3.3 m ³ /分, H= 13.5m 揚水量 = 9.0 m ³ /分, H= 13.5m	既2台 内予備1 既1台
明野中継ポンプ場	汚水ポンプ	2台	渦巻ポンプ 口径 φ200mm × 2台	揚水量 = 4.6 m ³ /分, H= 25.0m (13.0m)	内予備1 既2台
糸井中継ポンプ場	汚水ポンプ	2台	スクルーポンプ 口径 φ1,100mm × 2台	揚水量 = 14.32 m ³ /分, H= 4.8m	内予備1 既3台
錦岡中継ポンプ場	汚水ポンプ	3台	渦巻ポンプ 口径 φ150mm × 2台 口径 φ300mm × 1台	揚水量 = 2.26 m ³ /分, H= 16.0m 揚水量 = 7.1 m ³ /分, H= 16.0m	既2台 内予備1 既1台
沼ノ端中継ポンプ場	汚水ポンプ	6台	渦巻ポンプ 口径 φ200mm × 2台	揚水量 = 3.0 m ³ /分, H= 35.0m	内予備1 既2台
			水中ポンプ 口径 φ200mm × 2台	揚水量 = 3.0 m ³ /分, H= 26.0m	既2台
			口径 φ250mm × 2台	揚水量 = 5.9 m ³ /分, H= 26.0m	内予備1 既2台
ウトナイ中継ポンプ場	汚水ポンプ	2台	水中ポンプ 口径 φ200mm × 2台	揚水量 = 5.2 m ³ /分, H= 6.0m	内予備1 未整備

※ 上記の各ポンプ場の汚水ポンプの内、以下に示す施設は更新まで既存施設を使用する。

- ・糸井中継ポンプ場 スクルーポンプ φ1,100mm × 1台

(第6表)

変更なし

貯留施設調書				
処理区の名称	主要な貯留施設の名称	主要な貯留施設の位置	貯留能力(m ³)	摘要
高砂処理区	管内貯留堰T1	苫小牧市汐見町 1丁目2番	330	合流式下水道緊急改善 質的対策
高砂処理区	管内貯留堰T2	苫小牧市元中野町 1丁目6番	150	合流式下水道緊急改善 質的対策
高砂処理区	管内貯留堰T3	苫小牧市元中野町 2丁目9番	180	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰Njo	苫小牧市啓北町 2丁目11番	10	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰Ntu1	苫小牧市啓北町 1丁目6番	20	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰Nka1	苫小牧市新富町 1丁目1番、2番	180	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰Nka2	苫小牧市弥生町 2丁目4番	120	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰Nka3	苫小牧市北光町 2丁目7番	160	合流式下水道緊急改善 質的対策
西町処理区	管内貯留堰Nka4	苫小牧市花園町 4丁目8番	120	合流式下水道緊急改善 質的対策

3. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 1

様式1

(様式1) 施設の設置に関する方針(1)

主要な施策	整備水準				事業の 重点化・効率化の方針	中期目標を達成する ための主要な事業	備考	
	指標等	現在 (令和2年度末)	中期目標 (令和12年度末)	長期目標				
汚水処理	下水道普及率	99.2%	98.8%	99.0%	・宅地張り付き状況に応じて、汚水整備を進める。		R22年度末 全体計画区域99% (全道みな下水道 構想4アクション プランR22年度値 に基づく)	
浸水対策	都市 浸水 対策 達成 率	ハード 降雨強度 33.7mm/hr 53.6mm/hr	74.8%	77.6%	100.0%	【ハード整備方針】 ・降雨確率年を10年とし、 随時整備を進める。	降雨確率10年の 対象排水区を中 心に実施を進める。	局地的大雨に伴う 浸水被害が発生。
		ソフト 既往最大 126.0mm/hr S25.8.1 (胆振)	0.0%	100.0%	100.0%	【ソフト整備方針】 ・既往最大時の被害状況に 応じて、内水ハザードマッ プ等の整備を今後検討予 定。		局地的大雨に伴う 浸水被害が発生。
耐水化	※ 耐水化計画 未策定							
耐震化	災害時 にお ける 機能 確保 率	主要な 管渠	8.1%	11.7%	100.0%	人命確保を最優先とし、 有人施設や倒壊による周辺 被害の大きい施設の耐震化 を図る。また、老朽化して いる施設が多く、改築の時 期も迫っていることから改 築と同時に耐震化を図り効 率的に事業に取り組む。	下水道改良工事	
		下水 処理場	9.5%	47.6%	100.0%		西町下水処理センター 勇私下水処理センター 管理本館耐震化対策工事	
		ポンプ場	25.0%	25.0%	100.0%		糸井中継ポンプ場耐 震化対策工事	

(様式1) 施設の設置に関する方針(2)

主要な施策	整備水準				事業の 重点化・効率化の方針	中期目標を達成する ための主要な事業	備考
	指標等	現在 (令和2年度末)	中期目標 (令和12年度末)	長期目標			
高度処理	該当なし						
合流式 下水道 の改善	合流下水道改善率	100.0%	100.0%	100.0%	・平成25年度までに緊急改善対策は100%達成済であるが、浸水対策、老朽化対策、トイレ排水不具合解消対策と一体として分流化対策を継続する。		
汚泥の 再生利用	燃料または肥料として有効利用された割合	52.0%	54.0%	57.0%	・緑農地利用、民間肥料化などにより再生利用しており、今後も継続していく。		
その他 (汚泥の有効 利用)	上記の他(セメント材料等)で有効利用された割合	48.0%	46.0%	43.0%	・セメント原料化として有効利用しており、今後も継続していく。		
その他 (処理水の有効 利用)	再生水利用量	-	-	-	該当なし		

4. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式2

様式 2

(様式 2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度	摘要
管渠施設	<ul style="list-style-type: none"> 施設の重要度に応じて、概ね5～30年に一回点検を実施。 点検の結果、異常の可能性のある箇所について詳細調査を実施。 腐食環境下の施設は、10年に一度詳細調査を実施。 一般環境下の最重要、重要施設は、10～15年に一度、詳細調査を実施。 	
管渠施設 (被災時緊急点検方法または今後の方針)	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送路埋設管渠等の重要な幹線を優先的に緊急調査する方針とする。 	
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	<ul style="list-style-type: none"> 年1回点検を実施。異常を確認した場合、一次調査を実施。 設置後10年以上経過した資産を対象に、5年に一度、二次調査を実施。 	
水処理施設 (送風機本体)	<ul style="list-style-type: none"> 年1回点検を実施。異常を確認した場合、一次調査を実施。 設置後10年以上経過した資産を対象に、5年に一度、二次調査を実施。 	
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	<ul style="list-style-type: none"> 年1回点検を実施。異常を確認した場合、一次調査を実施。 設置後10年以上経過した資産を対象に、3年に一度、二次調査を実施。 	

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準(ストックマネジメント計画の策定状況)

主要な施設	修繕・改築の判断基準	摘要
管渠施設のストックマネジメント計画策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画を平成29年度に策定。 令和2年度 修繕・改築計画を策定。 	
管渠施設	<ul style="list-style-type: none"> 緊急度Ⅲの施設を修繕対象、緊急度Ⅱ以下の施設を重要度に応じて改築対象とする。 	
ポンプ施設のストックマネジメント計画策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画を平成29年度に策定。 平成30年度 修繕・改築計画を策定。 	
汚水ポンプ施設 (ポンプ本体)	<ul style="list-style-type: none"> 健全度3の施設を修繕対象、健全度2以下の施設を改築対象とする。 	
処理施設のストックマネジメント計画策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画を平成29年度に策定。 平成30年度 修繕・改築計画を策定。 	
水処理施設 (送風機本体)	<ul style="list-style-type: none"> 健全度3の施設を修繕対象、健全度2以下の施設を改築対象とする。 	
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	<ul style="list-style-type: none"> 健全度3の施設を修繕対象、健全度2以下の施設を改築対象とする。 	

iii) 改築事業の概要(令和3年度～令和7年度)

主要な施設	改築事業の概要	摘要
管渠施設	<ul style="list-style-type: none"> φ200～2500mm 	
汚水ポンプ施設	<ul style="list-style-type: none"> 期間内予定なし 	
水処理施設 (送風機本体)	<ul style="list-style-type: none"> プロフ(西町下水処理センター) 	
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	<ul style="list-style-type: none"> 期間内予定なし 	

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件	摘要
年あたり概ね17億円	概ね50年後	<ul style="list-style-type: none"> 【管路施設】 ・中期整備計画を基に算出(8億円/年) 【ポンプ・処理施設】 ・中期整備計画を基に算出(9億円/年) 	

c) 広域化・共同化等の見通し

広域化・共同化の見通し	広域化・共同化の概要および方針	摘要
周辺自治体との広域化	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 広域化計画策定予定。 	
他事業との連携 (MICS)	<ul style="list-style-type: none"> 予定なし 	
民間企業との連携の見通し (包括委託等)	<ul style="list-style-type: none"> 予定なし 	
災害時における民間企業との連携 (BCP策定、緊急時協定状況等)	<ul style="list-style-type: none"> BCP策定済(随時見直しを行う) 災害時における下水道施設の支援協力に関する協定締結 北海道一括協定で「公益社団法人日本下水道管路管理業協会」及び「一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会北海道支部」と締結。 	

5. 苫小牧市公共下水道事業計画変更 様式 3

財 政 計 画 表

様式3 イ 経費の部

(単位：千円)

年次	イ. 経費の部									
	建設改良費				計	起債		維持 管理費	その他	合計
	管渠	ポンプ場	処理場	うち 用地費		償還費				
令和2年 まで	101,685,696 101,704,614	7,412,877 7,292,588	29,434,903 29,180,013	138,533,476 138,177,215	309,600	93,383,477 93,388,240	95,640,758 95,321,816		327,557,711 326,887,271	
令和3年	1,280,582 1,249,066	188,000 82,280	668,000 735,980	2,136,582 2,067,326		1,980,498 1,992,666	4,489,058 4,505,013		8,606,138 8,565,005	
令和4年	1,680,582 1,197,109	70,000 129,150	830,000 503,984	2,580,582 1,830,243		2,029,531 2,044,956	4,527,435 4,608,076		9,137,548 8,483,275	
令和5年	1,680,582 1,680,582	70,000 70,000	830,000 830,000	2,580,582 2,580,582		2,049,579 2,049,579	4,560,728 4,560,728		9,190,889 9,190,889	
令和6年	1,680,582 1,680,582	70,000 70,000	830,000 830,000	2,580,582 2,580,582		2,042,835 2,042,835	4,604,081 4,604,081		9,227,498 9,227,498	
令和7年	1,680,582 1,680,582	70,000 70,000	830,000 830,000	2,580,582 2,580,582		2,007,743 2,007,743	4,608,265 4,608,265		9,196,590 9,196,590	
小計	109,688,606 109,192,535	7,880,877 7,714,018	33,422,903 32,909,977	150,992,386 149,816,530	309,600	103,493,663 103,526,019	118,430,325 118,207,979		372,916,374 371,550,528	
8~37						38,300,281 37,306,037	142,640,532 142,640,532		180,940,813 179,946,569	
合計	109,688,606 109,192,535	7,880,877 7,714,018	33,422,903 32,909,977	150,992,386 149,816,530	309,600	141,793,944 140,832,056	261,070,857 260,848,511		553,857,187 551,497,097	

記載要領

1. 流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設費負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

様式3 ロ 財源の部

(単位：千円)

年次	ロ. 財源の部									
	建設改良費				維持管理費及び起債元利償還費					合計
	国費	起債	他会計 繰入金	受益者 分担金	その他	計	下水道 使用料※	他会計 繰入金	その他	
令和2年 まで	48,982,302	76,445,460	6,387,343	6,718,371		138,533,476	98,134,029	90,890,206	189,024,235	327,557,711
	48,738,173	76,455,860	6,255,148	6,728,034		138,177,215	97,855,169	90,854,887	188,710,056	326,887,271
令和3年	540,000	1,581,900	13,382	1,300		2,136,582	2,293,784	4,175,772	6,469,556	8,606,138
	580,134	1,318,100	164,621	4,471		2,067,326	2,298,652	4,199,027	6,497,679	8,565,005
令和4年	500,000	1,947,000	132,607	975		2,580,582	2,287,316	4,269,650	6,556,966	9,137,548
	487,800	1,224,300	111,944	6,199		1,830,243	2,317,643	4,335,389	6,653,032	8,483,275
令和5年	500,000	1,947,000	132,932	650		2,580,582	2,287,150	4,323,157	6,610,307	9,190,889
	500,000	1,947,400	132,532	650		2,580,582	2,287,150	4,323,157	6,610,307	9,190,889
令和6年	500,000	1,947,000	133,257	325		2,580,582	2,274,538	4,372,378	6,646,916	9,227,498
	500,000	1,947,700	132,557	325		2,580,582	2,274,538	4,372,378	6,646,916	9,227,498
令和7年	500,000	1,947,000	133,582			2,580,582	2,268,229	4,347,779	6,616,008	9,196,590
	500,000	1,948,000	132,582			2,580,582	2,268,229	4,347,779	6,616,008	9,196,590
小計	51,522,302	85,815,360	6,933,103	6,721,621		150,992,386	109,545,046	112,378,942	221,923,988	372,916,374
	51,306,107	84,841,360	6,929,384	6,739,679		149,816,530	109,301,381	112,432,617	221,733,998	371,550,528
8~37							64,901,689	116,039,124	180,940,813	180,940,813
							64,901,689	115,044,880	179,946,569	179,946,569
合計	51,522,302	85,815,360	6,933,103	6,721,621		150,992,386	174,446,735	228,418,066	402,864,801	553,857,187
	51,306,107	84,841,360	6,929,384	6,739,679		149,816,530	174,203,070	227,477,497	401,680,567	551,497,097
下水道使用料 ※関連事項	接続率：99.9%（令和3年度(令和2年度末値)：初年度） → 99.9%（令和7年度：最終年度） 講じる対策：現在までと同様に下水道接続対する啓蒙活動を継続する。									
	有収率：78.1%（令和3年度(令和2年度末値)：初年度） → 81.5%（令和7年度：最終年度） 講じる対策：引き続き管渠の維持管理を行い、有収率が低下しないよう適切に維持管理を行い、老朽化により不明水流入が増加しないよう、計画的に管渠の修繕・改築を進めて、現状維持に努める。									
	その他の講じる対策：持続的に安定した下水道サービスを提供していくためには、経営の現況把握を行うとと将来の見通しを明らかにし、経営基盤強化への取り組みが重要であるため、今後も長期的な視点に立った、下水道経営を継続する。									

記載要領

- 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は建設費負担金を含んで記載する。
- 「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金、積立金取り崩し額等を記載する。なお、流域下水道は管理運営費負担金を含んで記載する。
- 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保障・人口問題研究所等による人口・世帯数の見通し、企業立地の見通し等を踏まえた上で算定すること。
- 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン（平成26年6月、国土交通省・（公社）日本下水道協会）」等も必要に応じて参照すること。
- 「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」の欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。